

道路問題

問 森上バイパス新設に伴う今後の対応は

答 地域の皆様と協議する中で決めていく



横田孝穂議員

【森上バイパス】

問 昭和57年陳情第21号、国道148号線付替道路新設に伴う諸事項に関する陳情書（未実施）について、村として今後どのように取り組めますか。

答 昭和51年に森上区から8項目、昭和57年に再度19項目にわたる要望をいただき、同年10月に森上バイパス建設の約束事項として双方で確認をしています。その後、約束事項の未実施部分と、松川端で行ったゴミ処理に対する補償事項についても、実施していない項目があること

から、今後、森上区と協議をしていきます。

【行政改革大綱 集中改革プラン】

問 行政の行うべき事業に、地元地区に負担金を求める事は不自然であり、未加入世帯の増大要因のひとつになっているので、地元負担金制度は廃止すべきと考えますが、所見を伺います。

答 地区において、未加入世帯が増えている中で、税の公平の立場から見れば負担しない人もいる中、不公平の面もありますが、当時の制度から見れば、財政基盤の弱い自治体が知恵を出し合った結果だと思えます。当面は現状で行っていきたい。

【村の農業と今後の展望】

問 今後の展望は。

答 営農支援センターで、作り手不足の解消と遊休農地の増加を防ぐために、担い手農家や農業法人、集落営農組織への農地の集積を行っています。今後、水田農

業推進協議会事業計画に基づき、水田ビジョンの点検推進そばの里づくり推進、大豆生産と地場産味噌の普及、県の「強い園芸産地育成事業」を活用しリンドウの栽培、村にあった新品目栽培に力を入れ、観光地白馬の景観を損なわないよう遊休荒廃農地を少しでも解消していききたい。

【第4次総合計画】

問 ごみ処理は、村の第4次総合計画において「ごみ処理広域化の推進を指します」と明確になっています。行政は、基本計画に則り（のっとり）行うべきと考えますが、村長の所見を伺います。

答 第4次総合計画の基本計画の中に「ごみ処理は広域で行う」と明確に記されています。今後に向けても、広域の枠の中でごみ処理をしていくことが、村民共通の思いでもありますので、第4次総合計画に則って対応をしていきたい。



森上バイパス